

**不適合情報**

2021年10月20日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

## 1. G I グレード 0件

## 2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	5号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)に、潤滑油圧力低の警報が発生し自動停止したことを確認した。調査の結果、冷凍機の停止状態に異常はなく、潤滑油の漏えいもなかったことから、潤滑油への空気の混入または潤滑油と冷媒の溶解と推測。潤滑油および冷媒の空気抜きを行い再起動し、運転状態に異常のないことを確認。当該事象の原因を調査。	2021/10/15	G II

## 3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)タービン補機冷却海水系ポンプ点検時、吐出ヘッダー圧力計指示電圧の出力不良を確認した。当該圧力計を点検・修理。	2021/10/15	
2	3号機	非常用ディーゼル発電機(B)排気管点検時、伸縮継手サポートに位置ずれを確認した。当該サポートの位置を修正。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2021/10/15	
3	4号機	タービン建屋高電導度廃液系排水槽ポンプ(C)に、シャフトの固着を確認した。当該シャフトを点検・修理。なお、ポンプ(A)は正常で、排水機能に影響なし。	2021/10/15	
4	5号機	タービン建屋サブドレンNo. 8(地下水汲み上げポンプ、2台)の、運転回数に差異があることを確認した。当該ポンプの制御装置を点検・修理。なお、運転回数の差異による排水機能に影響なし。	2021/10/14	
5	5号機	管理区域内で使用した防護服洗濯後の汚染確認のため検査装置(F号機)を起動したところ、検査装置が起動しないことを確認した。当該装置の使用を禁止し、点検・修理。	2021/10/15	
6	5号機	停止中の換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)潤滑油温度計に、指示不良を確認した。当該温度計を点検・修理。	2021/10/17	
7	6号機	安全系(A系)設備・システムの停止期間が2021年10月から2022年3月まで延長されたことにともない、原子炉補機冷却系熱交換器(C)／(F)、原子炉補機冷却海水系ストレーナー(C)／(F)の点検期限の延長が必要なることを確認した。点検期限の延長について技術評価を行い、問題ないことを確認済み。	2021/10/18	